

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (13-11)

| | | | |
|-----|----------------------------|------|------------------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 ふぉーらいふ | 代表者名 | (職名) (氏名) 理事長 中林 和子 |
| 事業名 | 家庭が居づらい子ども・若者の居場所作りと支援体制作り | | |

< 事業実施実績 >

| 年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入 | 場所 | 参加者 一般(スタッフ) | 活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記 |
|-----------------------------------|--|-----------------|--|
| 4月1日～ 2/29日 | 事務所 | 10 (158) | 毎月曜・木曜の週2回居場所開所(79回) |
| 10月30日 | 尼崎市役所 | (2) | 尼崎市役所 情報共有 |
| 12月5日 | 尼崎市ユース交流センター | (2) | 尼崎市ユース交流センター 視察・情報共有 |
| 12月12日 | 認定特定非営利活動法人 Learning for All 尼崎 支店 | (2) | 認定特定非営利活動法人Learning for All 尼崎支店 視察・情報共有 |
| 2月3日 | 西脇てとて広場 | (1) | 西脇てとて広場 視察・情報共有 |
| 2月15日 | 神出学園 | (1) | 神出学園 視察・情報共有 |

< 効果と成果 >

居場所を必要とする子ども・若者がそれぞれの家庭の状況に左右されないよう、負担なく居場所を利用できる体制ができた。昨年度は関係機関から対象者がつながることが多かったが、今年度は対象者の周囲の方々から問合せや相談があり、少しずつではあるが周知されつつあることがわかった。

また、今年度からスタートしたアウトリーチは、直前でキャンセルになってしまったものの、依頼の問合せがあるなど、居場所利用のハードルが高い対象者にとってニーズがあることがわかり、今後も継続して行う必要性を感じた。

まだ十分には対象者に行き届いていないが、実際に居場所を知ってくれた利用者が、「こんな居場所があることを知れて良かった。また来たい」と話してくれるなど、家庭や学校ではない居場所だからその役割があると感じた。

< 今後の展望 >

家庭に居づらい子ども・若者を対象にしているので、自分のやりたいことや好きな事をしてもらいたいとの意味で、開設当初より居場所のプログラムを敢えて「ない状態」にしていた。しかし、活動を続けていると「活動のイメージができない」「広報面で難しい」といった意見や、「やる事が決まっている方が過ごしやすい子もいる」といった関係機関の方からのアドバイスもあり、来年度からは大枠でのプログラム(学習時間やご飯を食べる時間等)の作成を検討していく。

また、現在は対象を「家庭に居づらい子ども・若者」としていながら、SNS等の広報を行っていたが、広く周知することでスティグマとなり、居場所を利用しづらい可能性がある。そこで、事業の広報については、関係機関への周知のみにする等、検討していく。

< 収支決算書 >

(収入)

| 項 目 | 金 額 (円) |
|-------------------|---------|
| 地域づくり活動 NPO 事業助成金 | 500,000 |
| 自己資金 | 1,000 |
| 合計 | 501,000 |

(支出)

| 区分 | 項 目 | 金 額 (円) | 左のうち 助成対象金額 (円) |
|--------------|-----------------|---------|--------------------|
| 直接 経 費 | 人件費 | 245,000 | 245,000 |
| | ボランティア報償費 | 88,000 | 88,000 |
| | 消耗品費 | 82,347 | 82,347 |
| | その他(ボランティア交通費等) | 45,928 | 45,928 |
| | 小 計 | 461,275 | 461,275 |
| | 間接経費(一般管理費) | 39,725 | 38,725 |
| | 合 計 | 501,000 | 500,000 |